



# 長野南高校野球部通信



第18号 2024年12月19日(木) 野球部監督 丸山智大

## 君達はすごい！

君たちはすごいな。と思うことがここ最近で2つありました。一つ目は、長野南高校は色々な部活動があります。他の部活と比べる必要はないのですが、この間先生方と話をして驚いたことがありました。他の部活動では練習や練習試合に平気で休む人がいるそうです。ましてや顧問に連絡もせずに。もしこれが会社であればすぐにクビだと思います。その人たちのことをどうこう言いたいわけではありません。ただ、君たちはよっぽどのことがない限りは当たり前のように部活に参加します。君達からすると「当たり前だろ。」と思っているかもしれません、周りを見渡すと意外と出来ていない人もいるということです。私自身も当たり前と思っていますが、それを当たり前と思って出来ている君たちはそれだけでもすごいのだなと感じました。

もう1つは、やり遂げようとする姿勢です。練習の中で同じことを続けるというのはとてもエネルギーが必要です。弱い人間は集中力が続かず、モチベーションを保てません。でも、君たちは最後までやり遂げます。例えば、ここ数日で言えば Tee メニューです。私は平気で君たちに 600～800 スイングを課しています。その後に更にバッティングやスイングが入ることもあります。弱い人間は、数をこなします。質を自ら落とします。そんな選手をごまんと見てきました。ただ、君たちは素直にやり遂げます。これもすごいなと思っています。

この2つをとても尊敬しています。これからも変わらず君たちの良さとして持っていて欲しいです。

最後に、頑張っている君たちだからこそ、その努力がもっと実るように意識してほしいことがあります。それは「全てに意味を持たせる。」ということです。先ほどの2つを例に挙げると、部活に毎日行く理由が「当たり前だから。」という理由ではなく、「上手くなりたい、強くなりたい。」という意味を持ってきたらもっとモチベーション高くできるでしょう。練習メニューに対してもです。「やらないでいいから。」ではなく、「〇〇のためにやっている。」という意図や意味があれば成長の度合いは必ず変わることだと思います。どんなことに対してもネガティブに取り組むよりポジティブに取り組めるような心を持ってください。

致知

連載「仕事と人生に生かすドラッカーの教え」より  
「致知」2019年8月号

マネジメントの父  
ドラッカー

成長のための  
偉大な能力をもつ者は  
すべて自分自身に  
焦点を合わせている。  
ある意味では自己中心的であって、  
世の中のことすべてを  
自らの成長の糧にしている

致知

月刊「致知」より  
岩出雅之

どうしても日本一になるんだ、  
本気で現実にするんだ、  
という気持ちを持つ者が、  
何人いるかによって  
勝負は決まる

史上初となる大学選手権9連覇を達成、その後連覇を  
途切れだものの、V10を達成した帝京ラグビー監督が